

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間  
油田・東・角谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	4人	0人	9人

前回の改善計画	
初回利用からの1か月間は、入浴・排泄等の援助場面だけではなく、送迎時の様子・他者との交流場面・様々な場面での発言内容や表情等について、随時 SOAP (S:本人の言動 O:職員が観察したこと A:そこから考えられること、判断 P:今後の対応計画) に基づいて記録を行う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
初回利用からの1か月間は安心して過ごして頂けるよう、発言内容や表情等については意識して関わることが出来たが、効果的な記録 (SOAP) になっていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	7	2	0	9
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	0	7	2	0	9
③	利用者がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	0	9	0	0	9
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	0	6	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス利用開始時、1か月間は安心して過ごして頂けるよう、SOAPを通してスタッフ間で情報を共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者や家族の言葉や思いを聞くことは出来ても、SOAPの記録の中の「A(そこから考えられること、判断)」までには至っておらず、本人・家族の立場に立って考えることが不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
記録 (SOAP) の「A」を記載する時には、利用者の立場に立った視点での考察を入れる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間  
油田・東・角谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	4人	0人	9人

前回の改善計画
10月中旬に、担当者が各利用者に「5年後どのような姿で暮らしていきたいか(あるいは、どのような姿は嫌か)」問いかけ、回答を得る。その回答をケース記録の表紙、A3記録のサービス実施記録表の個別活動欄に明記し、職員はなぜ日々の支援をしているのか意識できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
担当者が各利用者に「5年後どのような姿で暮らしていきたいか(あるいは、どのような姿は嫌か)」の回答を得て、ケース記録の表紙に明記できた(サービス実施記録表はスペースがなく記載できなかった)。が、日々の支援に活用できるよう意識することまでには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	6	2	1	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	4	1	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	4	1	9
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	1	8	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	日々のやりとりで利用者からの「～したい」を聞き取るよう、意識しながら関わっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	スタッフが日々の関わりで十分に「どうありたいか?」を聞き出せていない。また、目標を聞き出せても支援に繋がっているか不明である。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	朝の体操の時間中、利用者一人ひとりに「今日はどうすごしたいか?」と尋ね、その日の個別活動につなげていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間  
油田・東・角谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	4 人	0 人	9 人

前回の改善計画
利用者とのやりとりの中で感じたこと、気付いたことを声に出し利用者に直接思いを確認する。またその時の状況を SOAP の記録に記載する。(特に感じた事、気付いた事(A)は職員が行動した理由づけになるため記載する)
前回の改善計画に対する取組み結果
SOAP に基づき経過記録を記載し、状況の整理はできるようになったが、スタッフ間で情報の共有が出来るまでには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	5	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	9	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	1	8	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	9	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	8	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
場面に応じて本人のできることは本人が行えるよう支援している。体調や心理面の変化については随時対応し、SOAP で記録に記載し、スタッフ間で情報を共有している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
通い時の様子は理解できているが、自宅での生活環境等の理解が不十分である。本人の思いを十分にくみとれているか疑問であり、例え気付いたとしても記録が不十分であり言語化がされておらず、るスタッフ間の共有出来ているとは言い難い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
引き続き記録は SOAP に基づき行う。また、記録 (SOAP) の「A」を記載する時には、利用者の立場に立った視点での考察を入れる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)
------------------	-----	--------------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間 油田・東・角谷
---------------	------	-----------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	4人	0人	9人

前回の改善計画	現段階で把握している担当利用者のエコマップを11月中に作成し、ケース記録内にファイリングする。その後は、利用者とのやりとりの中で知り得た「つながり」や「地域資源」等を誰もが随時追加記入していく。
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	エコマップを作成し、本人が持つさまざまなつながりを可視化でき、ケース記録内にファイリングできた。追加記入もできる体制ができあがった。
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	6	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	3	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	1	7	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	7	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人から話を聞くことはもちろんだが、送迎時は家族と話をする機会ととらえ、積極的に情報収集に努めている。また、エコマップを作成し、本人が持つさまざまなつながりを可視化した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
エコマップを作成したが、主なつながりが家族間等であり、地域とのつながりについてはまだまだ把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
エコマップの随時記載を継続し、「つながり」や「地域資源」の把握を行う。利用者が地域の行事に参加出来る様、全スタッフが、広報「のみ」に目を通し地域の情報を集める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間 油田・東・角谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	5人	0人	9人

前回の改善計画	利用者とのやりとりの中で感じたこと、気付いたことを声に出し利用者に直接思いを確認する。またその時の状況を SOAP の記録に記載する。(特に感じた事、気付いた事(A)は職員の対応や支援理由になるため記載する)
前回の改善計画に対する取組み結果	SOAP に基づき経過記録を記載し、状況の整理はできるようになったが、スタッフ間で情報の共有が出来るまでには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	3	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	8	1	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	6	3	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	8	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者本人の思いや希望にそって日々支援を行っている。体調や気持ちの変化に気づき、スタッフ間で情報を共有し必要時において通い時間の調整や泊り等も組み合わせた柔軟な支援を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の状況や心理面等について記録 (SOAP) に記載しきれない点や、利用者本人の立場に立った視点ではなく職員側の視点での記録になってしまい、本人のニーズにそった支援から反れてしまう事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
記録 (SOAP) の「A」を記載する時には、利用者の立場に立った視点での考察を入れる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間  
油田・東・角谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	4人	1人	9人

前回の改善計画  
少人数 (2~3 人程度) での継続的な外出企画を立案し実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
外出企画をするが、利用者自身が「歩けない」「人混みが嫌」などの理由から実施には至らなかった。継続的な外出ではなかったが、その日の体調や気分によりドライブ等の外出は実施できた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	3	2	4	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	2	5	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	2	4	3	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	5	4	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
2 カ月に 1 度の運営推進会議や地域での活動・イベントの情報収集、中学生の総合学習による慰問・ボランティアによるクラブ活動などを行っており、交流もある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
自治体や地域の各種機関との会議等には、管理者やケアマネが参加しており、現場職員が関わる機会は少なく、あまり交流もない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
運営推進会議等の議事録に目を通し、地域の取組みや活動などの情報収集に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)

7. 運営

メンバー 福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間  
油田・東・角谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	0人	9人

前回の改善計画  
運営推進会議での活動報告は参加している現場職員が行う。また、ミーティングでは管理者に指名された職員が「ひまわり全体が良くなるために」という視点で何らかの改善提案を提供し議論する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
運営推進会議では、スタッフが順次出席し、活動報告等を行っている。が、各スタッフが会議での情報を把握できていない部分もあった。ミーティングでの改善案や議題に関してもあまり提案ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	3	4	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	2	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	4	2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	4	2	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者・家族からの苦情や声は話し合いを行い、今後の対応等を共通認識し、対応できている。  
運営推進会議では、スタッフが順次出席し、活動報告を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
ひまわりを良くするための議題の提案・話し合いに関しては不十分な面もあり、「運営」にかかわっているという意識がまだ不足していると感じる。全スタッフが運営理念の実現のために、堂々と意見を言える雰囲気やミーティングの方法ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
引き続き、運営推進会議には順次スタッフが出席し活動報告を行っていく。また、議事録には全員が目を通す。  
ミーティングの議題には、必ず1つ「ひまわり全体が良くなるために」という提案を入れ、話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間  
油田・東・角谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	5人	0人	9人

前回の改善計画
利用者とのやりとりの中で感じたこと、気付いたことを声に出し利用者に直接思いを確認する。またその時の状況を SOAP の記録に記載する。(特に感じた事、気付いた事(A)は職員の対応や支援理由になるため記載する)
前回の改善計画に対する取組み結果
SOAP に基づき経過記録を記載し、状況の整理はできるようになったが、スタッフ間で情報の共有が出来るまでには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	1	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	4	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	2	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	2	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ハプニング発生後は、ミーティングで2か月後評価をスタッフ間で話し合い、確認し、共通認識できている。また、スキルアップのために(時間が合えば)外部研修や内部研修に参加し、今後のより良い対応へ繋げている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	業務に追われてしまい、利用者の思いを感じ取れているかわからない。また、利用者がどう感じているのか等の記録が不十分であるため、スタッフ間での共通認識ができていない。 研修に参加したい思いはあるが、家庭の事情等の個人的な都合で参加出来ない事もある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	施設内研修に参加出来なかった場合には、後日、研修資料に目を通し、「後日閲覧報告書」に学び等を記入する。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 7 月 31 日 (17:00~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 福岡・山崎・表・保屋・見付・笠間  
油田・東・角谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	3人	0人	9人

前回の改善計画
利用者が「放っておかれている」と感じないために、利用者の横に椅子をもってきて座る・畳コーナーを活用して腰を掛けるなど、利用者に背を向けた状態で職員間での情報交換ややりとりを行わない。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者との会話をする時には、同じ目線や横に座るなどして、会話しやすい雰囲気を作っている。職員間での情報交換は、利用者に背を向けた状態で行う事が多く感じるため意識付けが必要。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	3	1	0	9
②	虐待は行われていない	6	2	1	0	9
③	プライバシーが守られている	2	5	2	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	4	5	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	5	3	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者に関わる時には、身体拘束やスピーチロックによる行動の抑制にならないよう、利用者が嫌な思いをしない様、言葉を選ぶなどを意識できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者の個人情報について、利用者がある場面で話し合うことがあり情報が洩れている可能性がある。また、自分たちが気付かない内に、利用者にとって「そっとしておいてほしい」部分に触れてしまい、プライバシーを侵害してしまっている可能性がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	記録 (SOAP) の「A」を記載する時には、利用者の立場に立った視点での考察を入れる。